大学史研究会会則

第1章 総則

- 第1条 本会の名称を大学史研究会とする。英語名称は Japan Society for Historical Studies of Higher Education (略称 JSHSHE) とする。
- 第2条 本会は、大学史研究の発展と普及に貢献し、研究遂行上必要な連絡と協力を広く国の内外にわたって促進することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 会員相互の研究上の連絡と協力の促進
 - (2) セミナーおよび各種研究会の開催
 - (3) 研究紀要、研究通信および名簿等の発行
 - (4) ウェブサイト等の制作・管理
 - (5) 内外研究団体との連絡および協力
 - (6) その他本会の目的達成に必要な事業

第2章 会員

- 第4条 本会の目的に賛同し、大学史研究に関心を有する者をもって会員とする。会員を通常会員、終身会員、学生会員、および機関会員とする。
2. 通常会員のうち所定の要件を満たした者は、終身会員となることができる。終身会員の要件については、別に定める。
 3. 学生会員は、大学院等に在籍する者とする。
 4. 機関会員については、別に定める。
- 第5条 新たに入会しようとする者は、会員1名の推薦を受けて事務局に申し込み、運営委員会の承認を得る。
- 第6条 会員は会費を負担するものとする。
- (1) 通常会員の会費は、年額金 10,000 円とする。
 - (2) 終身会員の会費は、無料とする。
 - (3) 学生会員の会費は、年額金 4,000 円とする。
- 第7条 会員は本会の運営、紀要への投稿および紀要の受領、本会主催のセミナーおよび各種例会などに参加する権利を有する。
- 第8条 前条の規定にかかわらず、次の場合には本会の会員としての参加を制限し、または会員としての資格を失う。
- (1) 会費の未納年度がある者は、研究会での発表、紀要への投稿など会員の権利を制限される。
 - (2) 3年以上会費の納入を怠った者、及び連絡不能となった者は、会員の資格を失う。
 - (3) その他、会の目的達成に支障をきたしたり、会の名誉を傷つける行為を行った場合には、適正な手続きにより除名することがある。

第3章 総会

- 第9条 総会は、本会の重要事項を審議決定する。
- 第10条 定期総会は年一回これを開く。定期総会では次の事項を審議する。
- (1) 前会計年度の活動報告および決算

- (2) 当該会計年度の活動方針および予算
- (3) 監査報告
- (4) その他、総会が認めたこと

第 11 条 総会は、出席者の過半数（委任状を含む）によって議案を議決する。

第 12 条 総会の議長は、総会に実際に出席している会員から互選する。

第 4 章 組織

第 13 条 本会に、運営委員会を置き、会の運営全般を統括し、会務を代表する。

2. 運営委員会は、代表 1 名を互選する。
3. 運営委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
4. 運営委員会の構成、選出方法は別に定める。
5. 運営委員会は、臨時総会を招集すること

ができる。第 14 条 運営委員会に、事務遂行のため事務局を置く。

2. 運営委員会は、事務局長 1 名を指名し、総会で承認を得る。
3. 事務局長は、事務局員若干名を指名し、運営委員会の了承を得る。
4. 事務局長および事務局員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 15 条 本会に、紀要編集委員会を置き、研究紀要『大学史研究』を発行する。

2. 運営委員会は、紀要編集委員長 1 名を指名し、総会で承認を受ける。
3. 紀要編集委員長は、編集委員若干名を指名し、運営委員会の了承を得る。
4. 編集委員長および編集委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
5. 紀要編集に関する規定は、編集委員会において別に定める。

第 5 章 会計

第 16 条 本会の経費は、会費、寄付その他の収入をもって充てる。

第 17 条 会計は、一般会計と特別会計とに分かつ。特別会計は、寄付金の受け入れ、利息および一般会計からの繰り入れをもって原資とする。

第 18 条 特別会計は、本会の活動の円滑な運営および本会の発展に資する事業に充当することができる。

第 19 条 本会の会計年度を、10月1日から翌年9月30日までとする。

第 6 章 監査

第 20 条 定例総会において、監事 2 名を会員の互選により選出する。

第 21 条 監事は本会の会計および会務執行状況を監査し、定例総会に報告する。

第 7 章 会則の変更

第 22 条 本会則の変更は、総会の過半数による議決による。

付則：

1. 本会則は、2019 年 11 月 23 日より施行する。
2. 第 13 条 2 項および 4 項の規定にかかわらず、2020 年度総会までの運営委員として、

事務局員 6 名を充てる。

3. 第 13 条 2 項および 4 項の規定にかかわらず、2020 年度総会までの運営委員として、事務局員 67名を充てる。

- ・第19条 一部改正（2020年度定期総会）
- ・第11条 一部改正（2024年度定期総会）
- ・第4、6、7、8、10、20、21条 一部改正。但し、2025年度までの未納会費は、一般会員金 5,000円、学生会費金3,000円を請求するものとする。（2025年度臨時総会）

終身会員規程

1. 終身会員制度の目的

- (1) 会費徴収あるいは研究会紀要販売以外の収入の増進として、寄附を募る一環とすること
- (2) 長年にわたって研究会で活動をおこなってきた会員を対象にして、会費の減免措置を講じること

2. 終身会員の要件

- (1) 本会に10年以上所属し、会費の未納がないこと
- (2) 当該年度中に65歳以上となること
- (3) 本会に対し、一般会員の会費10年分相当額以上の寄附をすること

3. 附則

- (1) 本規程の改廃は、総会の議によるものとする。
- (2) 本規程は、2025年度臨時総会により制定され、2026年度より運用を開始するものとする。
また、2025年度に会員権があり、上記要件を満たした者は、申し出により2026年度当初より終身会員となることのできる。

機関会員規程

1. 機関会員制度の目的

- (1) 本会と関連する研究等を行う機関との連携を促進すること

2. 機関会員の権利

- (1) 本会紀要1冊の受領
- (2) 『大学史研究通信』の受領
- (3) 本会ホームページへのリンク掲載

3. 機関会員の会費

- (1) 機関会員の会費は、1機関につき年額金5,000円とする。

4. 機関会員構成員のセミナー等各種例会への参加

- (1) セミナー及び各種例会に機関会員構成員が参加する場合、参加費を徴収することがある。
- (2) 徴収の金額については、セミナー及び各種例会の開催ごとに運営委員会が決定する。

5. 附則

- (1) 本規程の改廃は、運営委員会の議によるものとし、決定した事項は総会で報告する。
- (2) 本規程は2025年度臨時総会により制定され、2026年度より運用を開始するものとする。